腫瘍内科研修登録医研修プログラム

I　研修プログラムの目的

臨床腫瘍学の一定領域を既に研修している腫瘍内科医が、腫瘍学の特定の領域を補充して研修したい場合に、その研修の機会を与える。例えば、がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）などの専門医を取得したいが、受験資格を得るために必要な領域の研修を受ける機会がなかった医師は、本プログラムにより受験資格を満たすための内容のみを選択して研修することができる。

II　研修プログラムの特徴

・臨床腫瘍学のひとつ、または複数の特定領域を選択し、これらに対するがん薬物療法を中心とした知識、診療技能、臨床研究遂行能力を習得する。
・本人のこれまでの経験と目標とするゴールにより、1か月単位での研修期間を任意に選ぶことができる。
・研修生の「がん薬物療法専門医」受験資格に不足している領域の研修を補充できる。
・カリキュラムは、「NPO 法人日本臨床腫瘍学会　臨床腫瘍学コアカリキュラム（Recommendation for a Global Core Curriculum in Medical Oncology by ESMO/ASCO task force on global curriculum in medical oncologyに基づく）」に準拠している。

III　研修プログラム責任者、連絡担当者

研修プログラム責任者：大野 泉
連絡先　：E-mail: izumi.ohno@chiba-u.jp

IV　研修指導医

大野　泉（講師　がん薬物療法専門医）

Ⅴ　研修課程

1. 研修期間（1 か月～任意）

附属病院臨床腫瘍部での研修

臓器横断的腫瘍学、および各臓器領域の腫瘍学の中から研修生が希望する領域を選択し、これらに対する薬物療法を中心とした臨床研修を行う。

週間スケジュール

曜日	午前	午後
月曜日		通院治療室担当（日時選択可）
火曜日	外来実習	通院治療室担当（日時選択可）
水曜日	病棟カンファレンス	通院治療室担当（日時選択可）　エキスパートパネル（がん遺伝子パネル）
木曜日		通院治療室担当（日時選択可）
金曜日	外来実習	通院治療室担当（日時選択可）

2. 研修項目

・各種がんの管理、治療

・腫瘍学的緊急症（oncologic emergency）の診断・治療

Ⅵ　評価

以下の目的達成を持って、臨床研修の評価とする。

１）研修生が選択した領域の悪性腫瘍の治療法の原則と最新の知見についての知識を持ち、学会・論文発表による新しい研究成果を批判的に判断・吸収する能力を有する。

２）高い倫理性をもって、患者と良好なコミュニケーションをとりつつ、がんの診療、臨床試験を行うことができる。

３）主要な悪性腫瘍に対する、適切で安全な薬物療法を行うことができる。

４）主要な腫瘍学的緊急症（oncologic emergency）の診断と治療を行うことができる。

５）関連学会認定医・専門医資格（日本がん治療認定医機構「がん治療認定医」、日本臨床腫瘍学会「がん薬物療法専門医」など）を取得する。